

史跡保存整備事業《堀底盤の改良》

工事名：国補 小田城跡復元整備工事
発注者：つくば市 教育委員会
施工場所：茨城県つくば市小田地内

◆◆ 国指定史跡 小田城跡 ◆◆

小田城跡は、400年以上前の鎌倉時代から戦国時代にかけて、常陸国（茨城県の大部分）南部に勢力を持った小田氏の居城跡で、国の史跡に指定されています。

★★施工前★★

現場は湧水が多く、重機の作業は困難な状態



バックホウやトラクターによる攪拌



★★施工後★★

水のはっている堀底盤部分でも人の歩行は十分可能、



世界遺産 無量光院跡

史跡保存整備事業《池の底盤の改良》

工事名：無量光院跡保存整備工事

発注者：平泉町 教育委員会

施工場所：岩手県磐井郡平泉町平泉字花立地内

★ 特別史跡 無量光院跡 ★

平安時代末に奥州藤原氏 3 代秀衡が建てた寺院の跡です。モデルは宇治の平等院鳳凰堂。三方が土塁に囲まれた境内には梵字が池と呼ばれる池跡があり、その中に本堂跡の礎石が残る西島跡と東中島跡があります。平泉町教育委員会 H.P より



(復元 CG) 写真提供：平泉町教育委員会



「パルコート
散布・攪拌工」



遺跡発掘調査をしながら
工事を進める



池に水を張った状態でも、パルコート
改良の底盤・護岸は安定している

古墳群調査整備活性化事業

《古墳のり面の改良》

工事名：西都原古墳群調査整備活性化事業
に伴う保存修理工事（206号墳）

発注者：宮崎県 西都土木事務所

施工場所：宮崎県西都市内

★攪拌工★

バックホウにて改良土の色が均一になるまで良く攪拌。パルコートは、離れた場所で攪拌・混合

古墳の斜面勾配が急であることから、これまでも法面の流出などが発生し、土嚢積や土羽打ちで仮復旧を実施したが安定しない。

遺跡であることから、遺構に影響を及ぼすアンカーや法枠などの施工はできない。

周囲との違和感が生じないように、張芝仕上げが可能な材料で施工する。既に整備が行われた（約20年を経過）古墳であるため、できれば墳丘の盛土（粘性土）を再利用したい。

そのため、無公害型固化材「パルコート」が採用された。



★散水する★

パルコート混合土は、乾燥状態にあるため散水する。
散水量の目安は、4～10%程度です。



★改良土の運搬★

キャリアダンプで運搬



人力で改良土を運びました。人力で転圧。転圧も充分をお願いします。



固化状態も非常良い



文化財保存整備事業《表層地盤改良工事》

工事名：稲荷山古墳礫層陶板設置基盤整備工事
発注者：埼玉県 教育局 さきたま史跡の博物館
工事場所：埼玉県行田市埼玉地内

★ 特別史跡「埼玉古墳群」

稲荷山古墳 ★

稲荷山古墳は、埼玉県第2位の規模の大型前方後円墳で埼玉古墳群を構成する古墳の1つ。造営年代は、古墳時代後期の5世紀後半と考えられている。
Wikipedia より

施工状況



パルコート混合は、古墳の裾野で混合し、大型クレーンにて搬入



バックホウやレーキにて、パルコート改良土を敷き均す。



パルコート改良土に散水

転圧状況

コンクリートの際も人力でしっかり転圧



史跡保存整備事業《堀底盤の改良》

工事名：史跡新府城跡保存整備工事

発注者：韮崎市教育委員会

施工場所：韮崎市史跡新府城跡地内

★ 指定文化財（史跡） 新府城跡 ★

武田家最後の当主・武田勝頼公によって1581年に築城。勝頼公が本拠を甲府市の躑躅ヶ崎館から移転。1582年、織田・徳川軍に攻められ、入城からわずか68日で勝頼公自ら火を放つこととなった悲運の城とも言われていますが、近年の発掘調査により、史跡からは武田家の築城技術が随所に施されており、戦国武田家の集大成の城をいまに伝える良好な城跡です。
(一社) 韮崎市観光協会 H.P より

★★施工前★★

現場は湧水が多く、重機の作業は困難な状態



バックホウによる攪拌



★★施工後★★

水のはっている池底盤部分でも人の歩行は十分可能、



0.25m³クラスのバックホウにて作業を進める。
改良直後にバックホウが乗れるので作業の進行が早い。



★★施工1年後★★

池水はきれいな状態を保つ。魚への影響もない。
のり面も安定している緑化も良好



大友氏館跡庭園復元整備工事

《池底盤の改良》

工事名：大友氏館跡庭園復元整備工事
発注者：大分市 都市計画部 公園緑地課
施工場所：大分市顕徳町3丁目地内

★ 国の指定史跡 大友氏館跡 ★ (大分市 H.P より)
大友氏館の庭園は、約 500 年前に造られ、その後、21 代当主・宗麟の時代に雄大な池をもつ庭園へ改修。九州六か国を治めた戦国大名大友氏が威信をかけて造った庭園。大友氏館跡庭園は、池の遺構がほぼ当時の状態で発見され、復元整備によって、その姿を現代に眺めることができます。また、戦国大名の館跡において、最大級となる池を持った庭園跡。

「パルコート
散布・攪拌工」

《攪拌完了》

「パルコート」の色が目立たなくなる程度を目安とする
(全体にグレー色となりその色が均一になるよう)

改良対象土の計量



《敷均し後、散水》



《パルコート改良土敷均し》



★施工完了★

パルコート改良土の色（グレー色）も元の土の色に戻っている



【施工2年後】

